

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 34, No. 1 January 1988

泌尿器科紀要

第34巻 第1号 1988年1月

【原著】

男性不妊と亜鉛に関する基礎的研究.....岡 伸俊・ほか... 1
膀胱移行上皮の細胞構築的微細構造
第1報：収縮および伸展による影響について.....小西 平... 11
膀胱移行上皮の細胞構築的微細構造
第2報：正常および炎症膀胱の収縮・伸展による尿・血液閥門の変化について...小西 平... 23
コロニー形成試験および [³H] サイミジン取り込み試験を用いた
膀胱癌細胞株の放射線感受性に関する検討.....李 南奎・ほか... 32
Cisplatin の腎毒性に関する実験的研究
(持続静注法の腎障害予防効果について).....和泉 孝... 37
腎機能と微量元素に関する臨床的研究.....細川 進一・ほか... 46
進行性睾丸腫瘍化学療法時における低マグネシウム血症について.....飛田 収一・ほか... 52
進行性尿路上皮癌に対する補助化学療法の検討.....青田 泰博・ほか... 61
一般健康人における腎疾患の頻度.....伊藤 晴夫・ほか... 66
上部尿路結石症に対する ESWL の経験.....山本 啓介・ほか... 69
体外衝撃波による上部尿路結石破砕術 (ESWL) の経験.....下 在和・ほか... 73
硬性尿管鏡による腎盂結石の治療経験.....仲山 實... 79
膀胱腫瘍のレクチン結合糖鎖.....角谷 秀典・ほか... 86
尿失禁と膈部膀胱瘤に対する Stamey 法の経験.....坂本 亘・ほか... 90
二分脊椎に起因する神経因性膀胱に伴う VUR についての考察.....岡村 清・ほか... 95
夜尿症に対する薬物療法と膀胱訓練の比較.....山西 友典・ほか... 102
Noble ラット前立腺癌に対するジェニチルスチルベステロールの影響 (英文).....脇坂 正美... 107
前立腺癌の組織学的悪性度と予後
一前立腺癌取扱い規約分類と Gleason 分類の比較検討一.....内田 豊昭・ほか... 116
本邦における前立腺癌の治療動向一最近5年間における9施設の統計一.....赤倉功一郎・ほか... 123
男子尿道炎患者から分離された
Penicillinase-producing *Neisseria gonorrhoeae* について.....大川 光央・ほか... 130

【症例】

両側副腎にみられた Non-Hodgkin リンパ腫の1例.....伊藤 康久・ほか... 137
副腎 Myelolipoma の2例.....大森 孝平・ほか... 141
甲状線へ単独転移をきたした腎細胞癌の1例.....北村 雅哉・ほか... 147
腎保存的手術にて治療した両側腎血管筋脂肪腫の1例.....松宮 清美・ほか... 151
腎部分切除術を施行し残腎機能を保ち得た腎血管筋脂肪腫の1例.....竹山 政美・ほか... 155
尿閉をきたした骨盤腔内嚢胞の1例.....若林 賢彦・ほか... 159
高カルシウム血症を伴った膀胱癌の3例.....平川 和志・ほか... 162
結腸憩室炎に起因したS状結腸および回腸膀胱瘻に合併した膀胱腫瘍例.....三品 輝男... 168
急性発疹性疾患 (麻疹?) に合併した神経因性膀胱の1例.....村山 和夫・ほか... 175
夜尿を主訴とした自己臭症の1例.....水尾 敏之・安藤 正夫... 178
女子傍尿道平滑筋腫の1例.....松宮 清美・ほか... 181
絞扼された尿道脱の2例.....康裕・ほか... 184
交叉性睾丸転位症の1例.....京 昌弘・ほか... 188
XYY 症候群の3例.....岡本 英一・ほか... 191

【治験】

頻尿、残尿感を主訴とする排尿障害に対する
塩酸テロジリン (TD-758) の臨床効果.....中野 優・ほか... 196
尿路感染症に対するオフロキサシン (OFLX) の臨床効果の再評価.....秋山 隆弘・ほか... 201

SOCIETY FOR UROLOGY AND ENGINEERING, INC.

GEORGE R. NAGAMATSU, BS in EE, MD
121 East 60th Street
New York, NY 10022
212 838 5917
FAX 212 980 7893

—ANNOUNCEMENT—

The 3rd Annual Meeting
SOCIETY FOR UROLOGY AND ENGINEERING, Inc.
combined with
UNITED STATES-JAPAN UROLOGICAL RESEARCH FORUM
June 2 & 3, 1988
Boston, Mass.

- (June 1 Professor Robert Krane of Boston University has arranged a special program for Japanese visitors. Please see attached invitation letter.*)
- June 2 Ultrafast Laser Spectroscopy for Identification of Tissue Characteristics (benign and malignant) of Kidney, Bladder, Prostate.
Drs. Nagamatsu, Alfano, Addonizio.
New York Medical College and Dept. of Physics, City College of NY.
Latest Generation Studies in Electronic and other Shock Wave Lithotripsy.
Drs. Fuchs, Chaussy, Riehle, Aso, Tazaki.
Munich, UCLA, NY-Cornell U., Tokyo U., Keio U.
Ultrasonic Early Detection of Prostate Tissue Changes, not related to Imaging Technics.
Dept. of Urology, NY Med. College and Cooper Union School of Engineering, NY.
Basic Studies in Acupuncture and its Applicability to Urological Problems.
Professor Watanabe of Kyoto Prefectural College of Medicine will Moderate a panel of investigators from United States and Japan in this new approach.
Studies in Progress in Herbal Medicine.
National Institute of Health, USA and other investigators.
- June 3 Urological Forum Presentations, basic or clinical, are invited on any theme.
Dr. Addonizio, NY Med. College moderating. In addition to usual themes, under-publicized studies in "benign" conditions are welcomed: prostatitis, hematospermia, G-U allergy, infertility, impotentia (non-invasive studies), etc.

Mail the abstract form** to Dr. Nagamatsu by March 15, 1988.

This program will be published in the official program of the American Urological Association meeting on June 3 to 7, 1988 in Boston, Mass.

註

*: ボストン大学医学部泌尿器科において、6月1日(水)、午前8時より午後1時まで、“Urologic Update”と題しての Special lecture が予定されていますので、こちらの方も是非ご参加下さい。

** : 本会参加登録ご希望、あるいは発表用抄録用紙ご希望の方は、下記まで直接お問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

〒606 京都市左京区聖護院川原町54
京都大学医学部泌尿器科学教室

吉 田 修

電話 (075) 751-3327

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 8,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1988年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨床統計、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)、図(Fig.)5枚、表(Table)3枚までとする。
 - (3) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。
ワープロを使用する場合もB5版原稿用紙に1枚20×20字とする。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。下段に筆頭者名と、2語からなる running title を付記する。
例；山田・ほか：前立腺癌・PSAP
 - (5) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (6) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
 - (7) 数字はすべて算用数字を使用し、単位は m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μg, %, °C などとする。
 - (8) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1. ..., Fig. 2. ..., Table 1. ..., Table 2. ... などと一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
 - (9) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文(ワープロ可)はダブルスペースでタイプする。
例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{8,11-13)}によると...

雑誌の場合一著者名(全員)：標題。雑誌名 巻：最初頁—最終頁、発行年

例1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. *J Urol* 124: 205-207, 1980

例2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, 飛田収一, 大石賢二, 東 義人, 岡田裕作, 川村寿一, 吉田修: 経皮的腎砕石術(PNL)および経尿道的尿管砕石術(TUL)にみられる発熱について。泌尿器科紀要 33: 1357-1363, 1987

単行本の場合一著者名(全員)：標題。書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: *Urolithiasis Research*. Edited by Fleisch H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp 331-334, Plenum Press, London, 1976

例 4) 辻 一郎, 小柳知彦: 小児泌尿器科疾患. 市川篤二, 落合京一郎, 高安久雄編, 第 1 版, 9B PP 48-71, 金原出版, 東京, 1983

- (8) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残し, オリジナルを書留で送付する.
(原稿送付先)

〒606 京都市左京区聖護院川原町54
京都大学医学部泌尿器科学教室
泌尿器科紀要編集部宛

- (9) 論文の採否: 論文の採否は編集委員で決定し, 連絡する.
(10) 論文の加筆訂正: 審査の結果, 編集方針にしたがって原稿の加筆, 削除, および一部の書き直しをお願いすることがある. また, 編集委員の責任において多少字句の訂正をすることがある.
(11) 校正は初校を著者による責任校正とし, 再校以降は編集部が行う. 著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する.
(12) 投稿にあたっては, 本誌を十分参考にして体裁を守ること.
3. 掲載
- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする.
迅速掲載には迅速掲載料を要する. 5 頁以内は30,000円, 6 頁以上は 1 頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける.
(2) 掲載料は 1 頁につき和文は 5,500円, 英文は 6,500円, 超過頁は 1 頁につき 7,000円, 写真代, 凸版, トレース代, 別冊, 送料などは別に実費を申し受ける.
(3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器械の使用などに関する研究論文(治験論文)については, 掲載料を別途に申し受ける.
4. 別冊: 実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する.

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al: Prostatic cancer, PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.

編集委員: 吉田 修(委員長) 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重
新谷 浩 園田 孝夫 友吉 唯夫

泌尿器科紀要 第34巻 第1号 1988年1月25日 印刷 1988年1月31日 発行
発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
